

本時のねらい

- ・タブレットを使って、自己紹介スライドを作成することができる。
- ・タブレットを使って、自分が調べたい情報を探することができる。
- ・自己紹介スライドを活用して、他の人の前で自己紹介をすることができる。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・自分の気持ちを人に伝えたり、表現したりすることが苦手な生徒が多いが、タブレットを活用して自分のことをスライドなどに整理してから、表現活動をとることにより、自分のことをしっかりと伝えやすい環境ができる。
- ・タブレットに文字などを入力する際に、タイピングだけでなく、音声入力などの方法がある。タイピングが上手いかず苛立ってしまう生徒もあり、それぞれの適正に応じたタブレット活用方法を学んでいく。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・タブレット PC
- ・大型モニター
- ・ブラウザアプリ「寿司打」
- ・Google classroom
- ・Google スライド

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10分)	○本時の見通しをもつ。 ○ウォーミングアップ ・「寿司打」お手軽3000円コースでタイピング練習 【写真1】	・ゲーム感覚で入力練習ができるため、タイピングに苦手意識を持っている生徒も自分のペースで取組めるようにする。
展開 (25分)	○自己紹介スライドを作成する ・Google classroom に配信された Google スライドに各自で入力する。 ・必要な情報は、ネット検索を活用して調べる。 ・進度に応じて関係する画像を入れる。 ・スライドづくりができれば、発表の練習をする。 【写真2】	・テンプレートを送信することで、取組みやすくする。 ・タイピングが苦手な生徒へは、手書きや音声入力でもよいことを伝える。 ・スライド作成を通して、自分の表現したいことを整理する。 ・ネット検索の際に気を付けなければいけないことなどをおさえる。 ・画像を挿入する方法や、背景設定の方法など、スライド作成時に工夫できるスキルなどを個別に支援する。
まとめ (15分)	○自己紹介をする ・発表者はスライドをモニターに映して発表する。 ○発表について交流をする ・質問や感想を出し合う。 【写真3】	・少人数の環境で発表をする経験をすることで自信が持てるようにする。 ・まとめたプレゼンテーションソフトを使うことで、話題が順序立てた内容になり、安心して発表することができる。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真1】「寿司打」でのタイピング練習



【写真2】Google スライドを使って自分についての紹介文の作成



【写真3】各自で作成した自分についての紹介文の発表

児童生徒の反応や変容

- ・タイピング練習で、自分のタイピングのスピード、正確さを知り、次の目標を作ることができた。
- ・自己紹介のスライドを作る過程で、背景の色を変えたり、画像を入れたりなど、見やすく、わかりやすいスライドを作る工夫が見られた。
- ・発表を聞いている際、発表の中で出てきた言葉など、各自のタブレットで検索し、それをお互いに共有する姿が見られた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・身につけてほしいスキル(タイピングなど)と特性に応じて使い方を考えるスキル(音声入力)を活用したコミュニケーション能力も養っていきたい。今回の実践はそれらを複合的に組み合わせた取組みにしている。